



私たちは環境と福祉を考え、健全なモーター・ライフを応援しています。

Market - Column

軽自動車教えてくれる、時代の変化

“ファーストカーとしての軽自動車” そう思える時代になりました。

かつて軽自動車を選ぶ理由としては、価格の安さや車庫証明がいらないといった実利面が中心でした。



ところが1998年以降、軽自動車は新規格となり、排気量が大きくなるとともに、クルマの質感もかなり向上してきました。

こうした変化にともない、個性的なクルマが

つぎと登場してきたことが、ファーストカーとしてのチョイスに耐え得る大きな要因となっています。

軽乗用車に限れば、98年までは年間販売台数が90万台前後でしたが、その後は130万台前後で推移しています。

台数にして30%以上の増加。売上はこれをさらに上回るでしょう。やはり数字が、変化の度合いを明確に語っています。

その反面、いまや黄色いナンバーの特典は、税金や保険料の安さくらい。もちろん安いに越したことはありません。セカンドカーとしての存在価値もまだまだ大きく、手軽に使うことのできる“アシ”としては重宝さは捨て難いものがあります。

でも、車庫証明が必要になったのは面倒。価格もずいぶんと高くなりましたね。いまでは、小型車なみの価格の軽自動車もあります。

それがまた売れるわけです。値段が安いにこしたことはない。でも、出費が低いというだけのアピールポイントは、もはや限界にきているのかもしれない。

軽自動車が販売台数を伸ばしたという事実は、その背景に消費者心理の大きな変化が隠れていることを見逃すべきではないでしょう。(大)

1月の自動車月間販売台数

新車	総合計	登録車合計			軽自動車合計
		普通乗用車	小型乗用車		
販売台数(台)	404,210	272,216	97,684	133,171	131,994
前年比(%)	109.0	104.8	131.4	109.6	109.7
中古車	総合計	普通乗用車			小型貨物
		小型乗用車	普通貨物車		
登録台数(台)	355,164	131,451	175,781	13,678	24,274
前年比(%)	99.6	103.7	95.2	114.7	105.2
輸入車	総合計	外国メーカー		出展	
		逆輸入		新車	中古車
販売台数(台)	15,334	13,087	2,247	日本自動車販売協会連合会	
前年比(%)	99.0	95.4	127.5	輸入車は日本自動車輸入組合	

「マイカー点検しない」が 全体の3割、女性は6割

自動車点検整備推進協議会が行ったアンケート調査によると、ドライバーの33.6%がマイカーの日常点検を「全くしない」そうです。

とくに女性は、57.0%が日常点検を全く実施していない状態。日常点検に対する意識がきわめて低いという状況が明らかになっています。

年齢別では、29歳以下で「全くしない」が45.7%。30代、40代、50代と年齢を重ねるにしたがって、「全くしない」人の割合は低下する傾向にあります。

国土交通省自動車交通局は、実施率向上のため啓発活動を進めたいとしています。

阪神高速湾岸線で 大型車4割引実験

兵庫県内の阪神高速湾岸線の一部区間(鳴尾浜 - 六甲アイランド)で2月1日から1カ月間、大型車の通行料を4割引にする実験が始まりました。

この試みは、かねてより問題となっている周辺環境に配慮し、道路によって通行料金に差をつけることで、車の流れを変えようというもの。いわゆる「環境ロードプライシング」です。

阪神高速道路公団はすでに、2001年11月から湾岸線の同区画で大型車に2割引を導入。尼崎大気汚染公害訴訟の和解条項に基づく措置ですが、折からの不況で運輸業界は国道43号線を選ぶ傾向にあるようです。

今回の割引実験には業界をはじめ、行政、沿線住民、公団が注目。環境ロードプライシングの本格導入に向けての試金石となっています。

実験は兵庫県が提唱したもので、今後、公団に対して本格導入を要請していく構えですが、公団側は大幅な収入減となるため、今後厳しい判断を迫られることになりそうです。



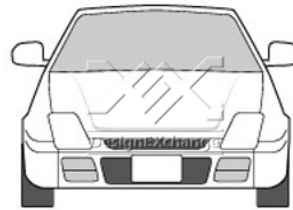
第3回 国際オートアフターマーケット EXPO 2004

会場：幕張メッセ

会期：3月4日(木)・7日(日)

本見本市は B to B のトレードショー。国内外の有力企業が300社以上出展。補修部品やリサイクルパーツ、用品・アクセサリーをはじめ、カーディティリング関連資材や軽補修・リペア/整備関連の出展まで幅広いビジネス提案を行います。

イベント実行委員会は、日本自動車部品工業会をはじめ、国内主要19団体と米国自動車部品工業会、米自動車用品工業会によって構成される自動車部品・用品連絡会、さらに日刊自動車新聞社、AM NETWORK といった媒体による組織。



【イベントの見どころ】

1. 海外出展者の企業プロフィール及び製品プロモーションをプレゼンテーション形式で実施。
2. ビジネス・経営戦略に関する最新テーマや関連制度を中心に、参加者のニーズに応じた課題別・対象別の講演・セミナーを開催。
3. 出展者による新製品紹介や事業提案など、ビジネスに役立つ情報を盛り込んだプレゼンテーション。
4. 館内では実演の難しい洗車や、車のエンジンかけ、セキュリティーアラームなどの実演が、屋外スペースを使用することにより可能になりました。

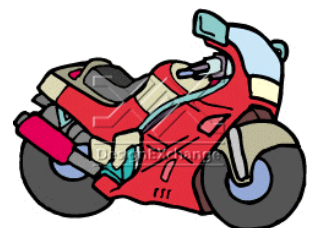
第20回 大阪モータサイクルショー 2004

会場：インテック大阪 2号館

会期：3月19日(金) - 21日(日)

20回目を迎えた今回は、メインテーマを「Change The Life by Motorcycle」として開催されます。サブテーマは「ハタチの、モーターサイクルショー」。

若者をターゲットとしたイベント展開で、国産および輸入車の2004年モデルが大集合することになります。憧れの1台に乗れる試乗会も実施。新車の性能と乗り心地を確かめることができます。



この人に聞く 特別インタビュー企画 9秒台にふれた男・伊東浩司 (2)

伊東浩司：1970年神戸市生まれ。陸上短距離のホープとして世界選手権5度、オリンピック3度出場。98年、10秒00(100m)のアジア記録樹立。00年現役引退。01年4月から甲南大学専任講師・陸上部コーチ。著書『疾風になりたい「9秒台」に触れた男の伝言』(出版芸術社)。



中学時代から短距離で注目され、報徳学園から東海大、さらに富士通へ。陸上競技を軸に運命が回転した。とくに社会人になってからは、スプリントに対する情熱と創造力が一気に加速していった。

FS 1998年のバンコク・アジア大会。当時の常識とはかけ離れた走法で、10秒00(100m)のアジア記録を樹立されました。28歳のときでしたね。

伊東 僕の場合は、さまざまな運動理論を否定して、そういうなかで自分に合うものだけを選んでやってきました。

FS 注目されることの重圧は、

伊東 記録が伸び、舞台が大きくなれば、見られる内容も違ってきます。周囲の反応という面では、活躍すれば注目され、不調になれば批判される。それは中学時代から感じてきたことです。

でも、アジア大会が終わって、少し考えが変わりました。広い世界の人と接する機会が増え、かえって理解してもらえる人にだけ理解してもらえばいいと思えるようになってきたんです。

FS 企業という組織のなかで、陸上競技を続けることについては、

伊東 企業人であるとともに、現役のアスリートは保障のない世界に生きています。つまり事実上はプロということです。

ですから、企業に対しては(陸上を)やらせてもらっている、という意識がつねにありました。ある意味では、割り切っていたわけです。

一番になりたいという意識の裏には、一番になることで宣伝効果が高まるという気持ちがありました。たとえばマラソンの場合だと、「SBの瀬古さん」だとか「旭化成の宗さん」というように、企業名と一緒に覚えてもらえるでしょう。ところが短距離の場合は、企業名より個人の名前が先に出てしまいがちです。

FS 競技生活を続けていくうえで、節目節目にはさまざまな決断があったと思いますが、

伊東 大学を選ぶときも、就職のときもそうです。学生時代はケガにたたられ、競技生活を終えることも考えましたが、周辺から「もったいない」といわれて富士通へ行くことになりました。

私の運命は、私の意思が10%くらいです。あとは周りの人たちのサポートや後押しがあって、ここまでやっていくことができたと思っています。(つづく)

信頼できるスタッフを派遣

神戸発の人材派遣会社セッテソーニは、自動車ディーラーを中心にスタッフの派遣を行っています。お気軽にご相談ください。スタッフ応募も受付中!

セッテソーニ株式会社

神戸市中央区京町79番地 日本ビルディング3階301号
Tel 078-331-7100 Fax 078-331-7102
<http://www.settesogni.co.jp/>

編集後記

高速道路の料金所でETC専用ゲートを強行突破するクルマが、関西で増えているようです。先日、そんなクルマを目の当たりにしました。

現金支払いのため料金所で止まっていると、ちょうどその横のETCゲートを猛烈な勢いでRV車が走りすぎていったのです。あきらかに強行突破車両、しかもスピードオーバー。

突破した車両の数は「わからない」ということですが、かなりの数にのぼるのかもしれない。新しい試みは、なにかと試練があるようです。

発行/森本・藤本合同行政書士事務所

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町33
兵庫陸運支局西隣(兵庫県自動車会館2階)
Tel.078-453-3335 Fax.078-453-3046
HP. <http://106951.com>